

地方創生推進交付金事業進捗評価調書(30年度実績)

担当課名	商工観光課
------	-------

【事業の概要】

交付金事業	体験型「観光×定住」推進事業(観光)		計画期間 H28~H30	総事業費	27,615 (13,688)
	事業目標	産業振興により賑わいと活力をつくる			
現状と課題	<p>・全国的にも知られている国際観光温泉文化都市である別府市に隣接し、交通アクセスに恵まれた利便性の良い日出町は豊かな自然や温暖な気候に恵まれた町である。国重要文化財的の山荘や日出城址などの歴史的なまちなみ、サンリオテーマパーク「ハーモニーランド」など豊富な観光資源が点在している。しかし、魅力的な地域資源について十分伝えきれていない。</p> <p>・観光客数は10年前と比較して10万人増加しているが、日帰り客数が76%を占めており、通過型の観光地としての印象が否めず、域内での消費額が伸び悩んでいる。</p> <p>・今後は滞在型観光客数の増加につながる参加型や体験型観光プランの造成に力を入れ、「泊まる」「食べる」「買う」という観光客の基本ニーズを満たすための仕組みづくりに取り組む。</p>				
事業概要	目的	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源や人材を活かした滞在(体験)型観光プランを造成し、交流人口の増加・観光消費額の拡大・移住の促進を図る ・移住者支援。相談体制の充実により移住促進を図る(滞在型観光プランの活用) 	内容	<ul style="list-style-type: none"> ・滞在(体験)型観光プランの造成及びステマケティング ・地域資源を活かしたプラン(または商品)を提供する人材及び組織の育成 ・観光協会の収益向上による町補助金の縮減 	

【事業実施計画・実績】

(単位:千円)

事業実績及び年次計画			
年度	H28(実績)	H29(実績)	H30(実績)
実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験費(ひじはく開催) ・企画研修費(商品化に向けたワークショップ) ・情報発信ツール作成費(ガイドブック、パンフレット等) ・広告宣伝費 ・ガイド実証運営費 ・インバウンド対応費(調査活動・英語版マップ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験費(ひじはく開催) ・企画研修費(滞在プラン商品化に向けたワークショップ等) ・情報発信ツール制作費(案内拠点・人を紹介するガイドブック、マップ等) ・パンフレット・ポスター制作費等 ・広告宣伝費 ・山岳ルートマップ作成費 ・インバウンド対応費(多言語対応ガイド育成ワークショップ等)&ツール整備 ・実証運営費(広域周遊ルート等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・実証実験費(ひじはく開催) ・企画研修費(商品化に向けたワークショップ、観光の核となる土産物等商品開発) ・情報発信ツール作成費(ガイドブック、パンフレット等印刷費) ・広告宣伝費(プロモーション等) ・インバウンド対応費(調査活動・英語版マップ) ・実証運営費
事業費	7,049	9,566	11,000
うち一般財源	3,645	4,782	5,500
平成30年度の事業概要			
<p>・実証運営費(ひじはく)の開催 「ひじはく」も3年目を迎え、住民参加による地域資源の発掘と意識の変化によるチャレンジの機運が高まり、「モノとコト(体験)、ヒト」が繋がるブランド価値の高い滞在型・交流型の観光地域づくりの基盤が熟成された。秋の国民文化祭では、特別な演出により、質の高い文化の発信も展開した。</p> <p>・産官学連携によるブランド力の向上と情報発信 APUの観光学部の学生と共同研究し、日出の魅力伝えるための(ブランドブック)を作成。また、首都圏等のメディア等に広く発信するため、日出町単独としては初めての食と観光のPRイベントを開催した。また、民間企業と連携し、多様な町の産品をオリジナルブランド化した「ひじめいど」の商品開発に着手し情報発信力を強化した。</p>			

【その他の関連事業】

事業目標のために関連するその他の事業
<p>・ひじ暮らし体験住宅(お試し移住施設)の改修及び運営 町が所有している空き家を改修し、日出町への移住を検討している町外者に対して短期滞在できるお試し移住施設を整備した。日出町の豊かな自然や住環境及び交通アクセスの良さなど、滞りて実体験してもらうことで移住への不安を解消し、移住の実現を図る。事業費:2,630千円(うち県補助金1/2:1,315千円) H29.6月運営開始 利用対象者:日出町への移住を検討する町外者 一泊:1,000円 期間:30日以内 H30度実績 18組32名が利用 年間利用実績220日</p>

【目標指標】

指標(KPI)	単位	基準値	年度			
			H28	H29	H30	
観光入込客数	人	110万	目標値	114万	121万	130万
			実績値	111.6万	113.0万	114.2万
観光消費額	円	63億	目標値	65億	69億	75億
			実績値	61.4億	63.4億	63.0億

【事業の達成状況と今後の展開について】

評価	事業の達成状況	
△	H28	4月に発生した熊本・大分地震により、日出町でも影響は大きく、観光入込客数及び観光消費額が目標値を下回った。そのような状況であったが、「体験型滞在プラン」を創出し、実施することができ、体験型観光を通じて、地域住民自身も地域資源の再発見ができ、意識改革となった。
△	H29	28年度の熊本・大分地震後の「ふっこう割」が28年12月で終了した。これにより29年度の客数は年間の半分以上の月で前年度数値を下回る結果となったが、外国人客は増加傾向である。「ひじはく」は2年度目を迎え、定着しつつある。
○	H30	自然災害が多発し県外からの客足も遠のくなか、地道にPRを続けた結果、新規ツアー造成の増加や滞在(交流)型プランを目的とした個人の来訪者数が大幅に増加した。また、新たに町内の生産者との商品開発事業「ひじめいど」の話題性もあり、観光ブランドイメージの浸透を図ることができた。

※評価:◎計画を上回る ○計画どおり △やや下回る ×不十分

【今後の方針・課題】

<p>大分県においては、秋に開催されたラグビーワールドカップ2019を契機に、アジアからの誘客に加え欧米・大洋州にウイングを広げた観光戦略が策定されている。日出町ではこれまでのプロセスを軸に、地域の観光素材磨き、情報発信とブランド力の向上、ターゲットに応じた誘客、安心で快適な旅を支える態勢整備等を強化しながら、持続可能で豊かな観光地域づくりを目指していきたいと考える。</p> <p>加えて、ハブとなる宿泊拠点(由布院・別府等)との連携強化を課題に、魅力的な周遊コースの開発とインバウンド対応型の滞在プランの造成を構築していきたい。</p>
